



何が起るかわからない  
といながらスタートさせて  
いただきました18年度4  
委員会それぞれがテーマを  
もってこれまで進めていた  
だっていることに感謝申し  
上げます。

5月より90名を超える大  
所帯になり、まだ名前と顔  
が一致しないメンバーもた  
くさんいるところではあり  
ますが少しずつコミュニケ  
ーションをとらせて頂き  
たいと思っております。

さて、7月といえはぼん  
ちまつりでした。  
本年は3回目を迎えたぼ  
んち村を11日間の例会と捉  
えその期間で75名のメン  
バーに参加いただきました。  
初めて経験されたメンバ  
ーも多くいたように思いま  
すがそれぞれに活躍し又メン  
バー間のコミュニケーション  
もおおいにとれたものと思  
っております。昨年より  
さらにバージョンアップし  
市民にも一つのイベントと



北見商工会議所青年部

会長 富 樫 伊知朗

して認知された3回目だっ  
たように思います。

しかしながら体力の限界  
を超えていたのは私だけで  
なく多くのメンバーが目  
で訴えていたのが思い出され  
ます。様々な課題もありま  
したが無事終了したことに  
あらためてお礼申し上げます。  
最後にこの経験を無駄に  
することなく今後の活動に  
活かせるようTEAM YEG  
として頑張りたいと思いま  
すので宜しくお願いいた  
します。



第2回 道東地区協議会 及び懇親会

がなぐやぐや

平成18年6月24日(土) 網走グランドホテルに於いて、「ごつぷり・がなぐやぐや」のテーマのもと第2回道東地区協議会及び懇親会が開催され北見からは富樫会長以下総勢十五名のメンバーが参加しました。18時30分からの協議会では今年度の事業活動について協議し、その後19時から懇親会が盛大に開かれ、単会からの参加者全員がそれぞれの「お宝自慢」を披露し、中には女子プロゴルファーの宮里藍ちゃんと一緒にラウンドできるなど、ゴルフアールにとつてはたいへんうらやましい自慢を披露する会員もいました。我々北見YEGメンバーも当初はグランドホテルに宿泊して「ごつぷり」飲んで、「がなぐや」語ろうと思いましたが、宿泊できなくなりましたために、最後まで懇親会場に残れなかったのが残念でした。

事務局長 塩野谷源一

例会報告

4月例会報告

平成18年4月19日、北見YEG 4代目富樫会長就任後、初めての例会が開催されました。新会長による所信表明が発表され、新たに、仕事・生活に役立ち会員のスキルアップを目的とする、「マイスキルアップ委員会」が設置されました。今回の例会では4つの委員会が今年度のスタートにあたり、各委員長、副委員長のもと、それぞれの「思い」を取り組みを伝えていただく例会とし、委員会配属から短い時間のなかで各委員会15分程度の持ち時間を使い、「マイスキルアップ委員会」からは「コーチング」というテーマで、「マネージメントトレーニング委員会」と合同で例会を開催するという新しい試みが出され、担当委員会の意気込みを感じさせるPRでした。「コミュニケーション委員会」は今年度から「ぼんち村」の担当もすることとなり、過去2回の経験とデータをもとにより充実した内容の企画を考えている旨のPRをしていただきました。その他各会員間、他団体との交流も活動のテーマとなっており、交流しました。「総務・広報委員会」においては、HPのより一層の活用、新たな取り組みとして、外部への情報発信方法の模索など、よりたくさんの方々に北見YEGを知ってもらいたいという思いを伝えていただきました。新年度のスタートということで事務局担当の例会となりま



したが、時間配分がうまくいかず「総務・広報委員会」のPRが慌ただしくなってしまうことをお詫びし、例会報告といたします。 事務局次長 鈴木 渉

5月例会報告

「コーチング前編」人間力とコミュニケーション力を高める」今年度第一回の例会は「コーチング(前編)、人間力とコミュニケーション力」をテーマに当会初の2回連続でのコラボレーションが実現することとなりました。本例会ではコーチングの理論を知っていただくために、株式会社インタフェース 代表取締役 五十嵐 仁氏を講師に迎え開催いたしました。まずタイプ診断テストを出席者全員で実施し、タイプを4つに分けて例会がスタートしました。同じタイプの人々がそれぞれ集まったのですが、周りを見回すと自分と同じタイプ、もしくはこの人が?などと思った人も多かったです。引続き、コーチングの基本である「傾聴」「質問」「確認」の3点の重要性を研修しました。コミュニケーション力を高めるには人の話を聞く態度が非常に重要で、「言葉は耳で聞けるが、心は目で伝わる」成程と思いましたが、その後タイプの特徴の種明かしがあり、非常に共感させられた会員が多かったです。 まずはご家族で訓練・コミュニケーションのために本例会で学ん



だことを実践してみたいかがでしようか。 マイスキルアップ委員会 大宮 剛

6月例会報告

本例会は、5月例会と2回連続でコーチングの講師例会を開催させていただきました。6月例会はコーチング後編(実践編)ということで、ロールプレイングで実際にコーチングを体験していただき、より早く会員の皆様にコーチングを身に付けてもらい職場や家庭で役立ててもらおうという趣旨で行いました。 短時間での習得は、なかなか難しくコーチ役が自分の考えに誘導してしまう場面がしばしば見受けられ五十嵐先生から「コーチはクライアントの話を聞きクライアントに答えを考えさせる質問をするのが仕事」と注意されることが多かったようです。実際にコーチングを学んでみると、大変参考になることが多く、まだまだ、極めたものとは為り得ないながらも会員の皆様のスキルアップに貢献できたのではないかと感じております。 今後、会員の企業にとつて必要と考えられるものを題材として例会を開催していきたいと考えています。 マネージメントトレーニング委員会 佐渡 英一

7月例会報告

「祝! 新北見の暑い夏!」ぼんち村3年目のチャレンジャー!」皆で楽しく騒ごうぜ!のテーマのもと、7月例会を新コミュニケーション委員会、加納委員長と共に開催させていただきました。 本年度もぼんち村まつり実行委員会・財政宣伝部会よりビア&カフェぼんち村の継続が決議され

年部が一丸となり新北見市の節目を祝い、資金造成とPRに全力を注ぎ昨年以上の熱い思いを心に3年目のぼんち村開催期間を例会として開催しました。 昨年のぼんち村はプロジェクトチームを結成し、7月7日から17日までの11日間を開催期間として行いましたが、本年度は昨年の結果を踏まえ、我々コミュニケーション委員会では設営班・イベント班・食材班・会計班の四班に分かれ計10回以上に渡り、YEGメンバー全員がこのぼんち村で語り、友情と絆を深める場所になるよう、また北見市民のため喜ばれる憩いの場所となるよう各班一致団結して企画運営に努めてまいりました。 今回のぼんち村は、昨年同様11日間(7月6日・16日)の期間で行い、初日のオープニングセレモニーから最終日に渡り、今までに無い数多くのイベントを連日開催させて頂き、また今回から焼肉セットや海鮮セットなどの新メニューが登場したことで、客足が常に絶えず多くの方々に楽しんで頂けたと思えます。

また期間中には各委員会の販売対抗ブースなどを設け、多くのYEGメンバーに参加してもらい昨年以上の来場者が見え大成功に終わることが出来ましたことを心から感謝しております。 私も人會当時からこのぼんち村に携わり3回目となりますが、回を重ねることで手馴れた作業が出来るメンバーが着々と増え大変うれしく思う(笑)ほんと楽しく、暑い、11日間でした。

来年もまた来るぞ、「暑い夏!」最後に:皆様の貴重な時間をお借りして無事このぼんち村が終了いたします。この紙面を借りて感謝申し上げます。「みなさん大変お疲れ様でした。」 コミュニケーション委員会 猪狩 貴論

# 北見じまん村 オーフン!

平成18年7月10日午後5時、北見じまん村がオープンいたしました。

北見市長、北見商工会議所会頭、北見観光協会会長、店主の皆さんで開いた振舞い酒も、注ぎ足し注ぎ足して14升！大勢の人々がいらつしやって通路を歩かれました。

「どんな店だろうっ」と暖簾の隙間から覗き込むお客さんの姿や、営業を終えて疲れた中でも充実感のある店主の笑顔を見ているだけで「やって、良かった!」と思いました。

北見には、本当に素晴らしい素材があります。それらをPRすることが出来たなら、掘り起こすことが出来たなら、北見に素敵な未来が開けると思います。もっと北見を自慢して、もっと多くの人に北見を知ってもらおうことで、北見がどんどん良くなっていくことを信じています。

今後「北見じまん村」を運営していくにあたって、数多くの障害が待ち受けているかも知れませんが、皆様方の英知と情熱をいただいで、ますます繁栄していきたいと思えますので、今後とも皆様方のご指導をよろしくお願いいたします。



## 編集後記

北海道らしい夏がやってきて、ビールのおいしい季節になりました。

今年の「ほんち村」は天気にも恵まれ大盛況のなか、若手の活躍も光り、来年への期待が一層膨らみます。みなさん大変お疲れさまでした。また今年からは待望の「じまん村」もオープンし、北見地域の経済的發展というYEGの目的に近づけた夏と思います。

TRY8月号の発行に際し、ご多忙そして時間のなかでご協力いただき感謝しております。

総務・広報委員会

板谷 公明



**次号** 第18号は平成十八年十二月初旬発行です。

TRYに載せて欲しい記事をお持ちの方は、お気軽に総務広報委員会まで、お知らせください。